

1 研究の概要

(1) 研究主題

音楽活動を通して、音楽の仕組みを聴き取り、感じ取り、表現に生かすことのできる児童の育成
ー〔共通事項〕を拠り所に、表現領域の3分野の関連を図った題材構成の工夫を通してー

(2) 主題設定の趣旨

小学校学習指導要領において求められている音楽科教育の在り方

小学校学習指導要領では、表現及び鑑賞の内容が、「歌唱」、「器楽」、「音楽づくり」、「鑑賞」ごとに示されており、これら全ての活動において、共通に指導する内容が、〔共通事項〕として示されています。〔共通事項〕の指導事項は、「音色、リズム、速度などの音楽を特徴付けている要素や、反復、問いと答えなどの音楽の仕組みを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさなどを感じ取ること」と『音符、休符、記号や音楽にかかわる用語』を音楽活動を通して理解することです。小学校学習指導要領解説音楽編には、〔共通事項〕について、「指導に当たっては、表現及び鑑賞の各活動の中で指導し、〔共通事項〕に示す内容のみを扱う学習にならないように配慮することが大切である」⁽¹⁾と記されており、常に各活動と関連させて指導することが求められています。

小学校における児童の実態と指導の現状

平成24年度実施の小学校学習指導要領実施状況調査結果によると、〔共通事項〕の内容について、「音楽の縦と横の関係」を指導しにくい要素と回答している教師が58.3%で、指導が一番困難な要素であることが分かりました。また、児童の質問紙調査においても、「反復」や「変化」は、81.2%の児童が曲想と結び付けて聴き取っている一方で、「音楽の縦と横の関係」については、通過率が57.4%であることが分かりました。

「音楽の縦と横の関係」は、音楽の仕組みの1つです。音楽の前後の関係や音楽全体を捉えて聴き取る必要があるため、児童にとって聴き取りが難しい要素であると考えられます。しかし、「音楽の縦と横の関係」は、音楽の響きの美しさや豊かさを感じ取るための大切な要素です。幅広い音楽活動に取り組みさせる中で十分な指導を行っていく必要があると考えます。

また、学校現場における実際の指導においては、「音楽の縦と横の関係」について、どのような指導を行えばよいかの分かりにくく、各活動の中で、十分な指導が行えていないという現状があると考えられます。題材のねらいに即して、各活動と「音楽の縦と横の関係」との関連を明確にし、効果的な指導を行うことができるようにする必要があると考えます。

本研究の目的

これらのことから、幅広い音楽活動の中で、「音楽の縦と横の関係」を聴き取り、その働きが生み出す音楽のよさや面白さ、美しさなどを感じ取り、それらを音楽表現に生かすことのできる児童の育成を目指したいと考えました。そのために、領域や分野の関連を図った題材構成や指導方法を工夫します。具体的には、各活動と「音楽の縦と横の関係」との関連を明確にした題材構成の工夫と、児童が聴き取り、感じ取ったことを表現に生かすことのできる発問の工夫をします。検証授業は、音楽表現をするのに一番ふさわしいと考えられる「音楽づくり」の分野で行い、その有効性を探ります。

(3) 研究方法

- ① 〔共通事項〕を拠り所に、領域や分野の関連を図った指導に関する理論研究と先行研究の調査
- ② 「音楽の縦と横の関係」の理解と音楽表現に生かすことについての児童を対象とした質問紙調査
- ③ 〔共通事項〕を拠り所に、領域や分野の関連を図った授業実践

(4) 研究内容

- ① 文献調査を通し、〔共通事項〕を拠り所に、領域や分野の関連を図った題材構成や指導方法の工夫を探ります。
- ② 対象学校6年生の児童に対して、「音楽の縦と横の関係」の理解と、聴き取り、感じ取ったことを音楽表現に生かすことに対する意識について質問紙調査を実施し、児童の実態を把握します。
- ③ 〔共通事項〕を拠り所に、領域や分野の関連を図った題材構成と指導方法を工夫し、「音楽づくり」の授業実践を通して、その有効性を検証します。

《引用文献》

- (1) 文部科学省 『小学校学習指導要領解説音楽編』 平成20年8月 p. 17